

春季連休中の持経宿・平治宿巡回と作業

持経宿へ薪持込と薪置場設置など

◇実施日：平成27年05月06(水) 天候：晴

◇参加者：沖崎吉信、児嶋道夫、濱野兼吉

計3名。

前日、児嶋さんから明日持経宿へ薪持込と薪置場を造る、同行どうかとの電話があった。川島さんからは、平治宿の志納箱が宿泊者からお金で溢れているらしいとの話があつて志納金回収の連絡があり、渡りに舟と同行する事になった。

当日、7時に児嶋さん宅に集合、トラック荷台には池郷林道で確保し降ろして、自宅で薪割機にて小割された薪と3mの単管パイプもたくさん積まれている。

途中、児嶋さん奥さんの実家の小森にも寄り、更にパイプ・トタンを積込み、白谷林道経由で10時30分前に持経宿着。

5月3日から持経宿の来宿者に対応している村吉さんが、迎えてくれた。

早速、薪置場の設置場所を決め、荷降し着工となった。

薪置場工事を兩名に託し、沖崎は平治宿へ向う、着後早速、志納箱の志納金を回収、溢れ出してはいないが、3万9千円回収した。

昨年一年間の平治志納金計が、2万5千円(25人/年)であった。本年4月から宿泊料金千円アップの効果もあるが一週間で金額クリア。単純計算で宿泊者が一週間で約20人弱と昨年の80%が宿泊し、GW中の宿泊者が多くなっている事になりました。

後で村吉さんに聞いたが、玉置神社での宿泊は16時迄に入る約束の為、吉野・前鬼からの入峰者は持経宿を通過し平治・行仙宿に向う者が多かったとのことである。

12時半頃に持経宿に戻り、昼食後薪置場の手伝い、16時近く迄頑張

り何とか型にしたが、敷板とトタンの不足で完工には至らなかった。

村吉さんは、午後千年檜先の鞍部付近2段差造りをされた。

村吉さんは、池郷林道経由で本日帰宅するとの事で、我々も池郷林道経由で帰ることを児嶋さんに提言したところ「青木氏事故」のあった行仙宿登山口の階段の滑り止め対策作業をやるので、白谷林道から行仙宿登山口へ向うと、ここで始めて別メニューのあることを知った。

児嶋さんの対応や行動の早いこと、一本取られた思いである。

階段では、上部15〜16段に白ペンキを塗り、そこへ富士山の火山灰「富士砂」を蒔き、更にその上にペンキを塗って滑り止めとした。

これでかなりの効果が期待できる、

新宮着18時過ぎと遅くまでご苦労様でした。

青木君のおかげでGWのスケジュールは変わるし多忙であった。

特に、5月5日行仙宿へ入宿予定の大江、畑林さんにはご迷惑かけました、青木に代わりお詫び申し上げます。

皆様、くれぐれも事故のない様に気をつけましょう！

(記 沖崎)



仮設薪置場